

市民会議 ニュースレター 第1号



10代～80代の幅広い参加者による市民会議がスタート！



第1回目の今回は、新花巻図書館建設候補地の比較調査結果について説明をしたのち、候補地ごとにメリットやデメリットについて、全員で対話をしながらまとめていきました。

令和6年11月17日（日）
13時～17時

生涯学園都市会館（まなび学園）

出席者：65名（申込者75名）

これまでの経緯

現在の花巻図書館は、開館から50年以上が建ち、施設の老朽化などが課題となっています。

平成29年には整備の基本方針や建設場所に関する方針などを定めた「新花巻図書館整備基本構想」を策定しました。

この基本構想に基づき、「新花巻図書館整備基本計画」を策定するため、令和3年から新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、サービスや機能について検討してきました。

建設候補地は、花巻駅前と総合花巻病院跡地の2か所に絞られてきたと考えていますが、両方の候補地に整備する場合の事業費などを示すため、専門業者に建設候補地2か所の概算事業費の算定やイメージパースの作成等、建設候補地の比較調査を委託しました。

調査結果については、市ホームページで公開しているほか、市内振興センターなどでも閲覧できます。

[市ホームページへ▶](#)



会議の目的

今回開催する市民会議は、比較調査結果の資料などを基に、市民が対話を通じて互いの意見や考え方を共有し、会議で出された意見を可視化・整理することで、市が建設候補地を選定するための判断材料をつくることを目的としています。

なお、会議の参加者は無作為で抽出した15歳以上の市民へ案内を送り、参加申込をいただいた方としており、無作為抽出は年代や居住地域のバランスを考慮して行いました。結果として、10代から80代の75名の方から参加申込をいただきました。

！
新花巻図書館の整備状況について情報を発信しているポータルサイト「新花巻図書館のこれまでとこれから」もぜひご覧ください！

[ポータルサイトへ▶](#)



会議の内容

慶應義塾大学大学院特任教授の山口寛さんをメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、対話による話し合いとはどういうものか、対話のルールなどを確認しながら次のように進めました。

対話の心得

- 「私たち」と思う
- 話に耳を澄ませて聴く
- 否定も断定もしない
- 答えは一つと思わない
- 一人1回2分以内
- アイディアをつなげる
- 心の変容を許す

- 13:00** はじめに・趣旨説明
ファシリテーター紹介
- 13:05** ルール説明等
- 13:30** 対話
自己紹介・自分にとって図書館とは？
- 14:00** 市からの現状説明
質疑応答
- 14:40** 対話
2つの候補地のメリット・デメリット
- 16:00** 席替え
他グループで出された意見の共有
- 16:20** 発表
代表4グループから
- 16:40** ファシリテーターからコメント
- 16:50** 感想共有
- 17:55** おわりに・事務局挨拶

近い年代ごとに分かれ
11のグループで話し合い



席替えでは年代を混ぜて
他のグループで出た意見を共有



* テーブルファシリテーターは山口さんの研修を受けた市職員が担当しました。

参加者の声

- 初めは緊張したけど、話しやすい環境だったので自分の考えを話すことができた
- それぞれのメリット・デメリットを共有することを有意義に感じたし、グループ分けを年齢で分けていただいたので話しやすかった
- 次回に向けて広い視野で情報収集をしたいと思った
- ほかの世代の人と話すいい機会になった
- 若い方が、このような場に参加していることに驚いている。いつも何かの場では若い人の参加が少ないので、今回のテーマがよかったのか、やり方がよかったのだと思った
- 時間があっという間にすぎた。楽しかった

第2回 市民会議

12月21日(土) 13時～17時
生涯学園都市会館（まなび学園）

第1回で話し合った内容を踏まえ、引き続きメリットやデメリット、さらにデメリットの解決策について話し合います

市民会議 ニュースレター 第2号



第1回に引き続き、みんなで対話を重ねています！



第2回目の今回は、前回話し合いで出された候補地ごとのメリットやデメリットについて抜けや不足がないか確認し、項目の追加や修正を行いました。

令和6年12月21日（土）
13時～17時

生涯学園都市会館（まなび学園）

出席者：64名（申込者75名）

会議の内容

第1回と同様に、慶應義塾大学大学院特任教授の山口 寛さんをメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、グループに分かれて次のように話し合いました。

- 13:00 はじめに・あいさつ
会議の目的・ルール説明等
- 13:10 アイスブレイク（最近あったこと）
- 13:25 1回目の作業結果・内容確認
- 13:50 新たな視点の追加
- 14:40 グループ毎に表の加筆・修正
- 15:15 席替え
- 15:30 他グループで出された意見の共有
グループ毎に表の加筆・修正
- 16:30 発表（4つのグループが発表）
- 16:50 ファシリテーターからコメント
- 16:55 ふりかえり・感想共有
- 17:00 おわりに・あいさつ

対話の心得

- 「私たち」と思う
- 話に耳を澄ませて聴く
- 否定も断定もしない
- 答えは一つと思わない
- 一人1回2分以内
- アイデアをつなげる
- 心の変容を許す



今回は、前回挙げられた候補地ごとのメリット・デメリットをまとめた表を見ながら、まずは事務局が項目をひとつひとつ読み上げ、内容を確認しました。

その後、参加者の皆さんが新たな視点からメリット・デメリットを考えられるよう、市がこれまでに受け取った署名や高校生を対象にしたアンケート結果について、また、両候補地と宮沢賢治の関わりについてなどの説明を行いました。

それらを踏まえたうえで、表の各項目について追記・修正を行い、候補地ごとのメリット・デメリットについて対話を重ね、より充実したものにしていきました。

* テーブルファシリテーターは山口さんの研修を受けた市職員が担当しています。

候補地めぐり (フィールドワーク)

市民会議開催日の午前中、メインファシリテーター（話の促進役）の山口さんと一緒に、参加者のうち希望した9名が候補地2か所とその周辺を歩きました。

- 10:00** まなび学園出発
総合花巻病院跡地視察
(市民体育館・市役所経由)
- 10:50** JR花巻駅前視察
なはんプラザ(休憩)
- 11:30** まなび学園到着

それぞれの建設候補地について、景観や周辺環境など、実際に見聞きし、確かめることができました。

参加者の声

- 候補地めぐり(フィールドワーク)に参加して初めて理解できたこともあり、とてもいい機会となった。
- 一回目の会議よりも深く考えることができた。
- 実際はどうなのだろう?と気になることが増えた。
- 前回、計画室の職員に質問していたことについて今回回答してもらえてよかった。
- まだまだ話し合う時間が足りないと感じた。それくらい難しい内容だった。
- 班員同士で意見を出し合う空気があって助かった。

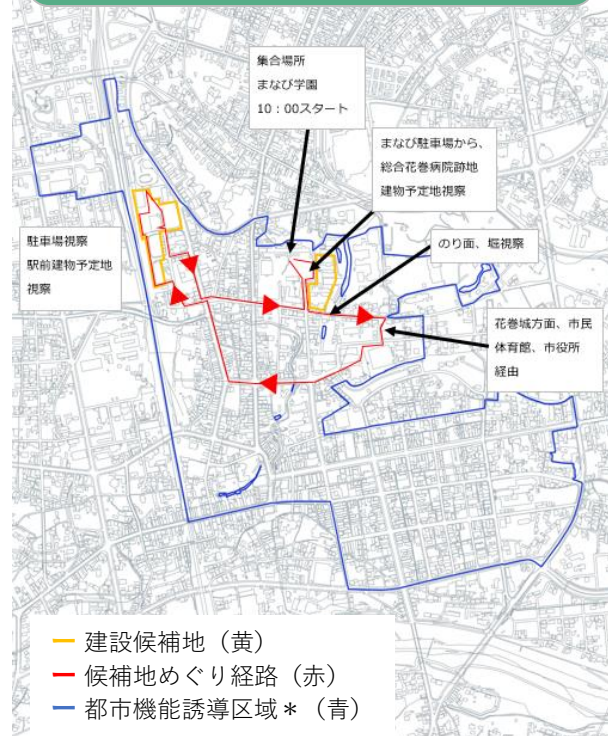


新花巻図書館の整備状況について情報を発信しているポータルサイト「新花巻図書館のこれまでとこれから」もぜひご覧ください!

ポータルサイトへ▶



候補地めぐり(フィールドワーク) 経路



* 都市機能誘導区域は、医療・福祉・子育て・商業といった生活サービス施設の立地を図りながら、市全体が持続するために必要な拠点をつくるために定める地域です。

第3回 市民会議

令和7年1月26日(日) 13時~17時
生涯学園都市会館(まなび学園)

第1回・第2回の内容を踏まえ、改めて候補地ごとのメリット・デメリットを確認し、デメリットの解決策について話し合う予定です。

市民会議 ニュースレター 第3号



いよいよ終盤！みんなでアイディアを出し合いました



3回目となる今回は、前回までに挙げられた候補地ごとのデメリットの解決策について考えたり、これまでの対話を通して自分はどう思うか話したりしました。

令和7年1月26日（日）

13時～17時

生涯学園都市会館（まなび学園）

出席者：57名（申込者75名）

会議の内容

第1回・第2回と同様に、慶應義塾大学大学院特任教授の山口寛さんをメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、グループに分かれて次のように話し合いました。

- 13:00** はじめに・あいさつ
会議の目的・ルール説明等
- 13:05** アイスブレイク（最近あったこと）
- 13:20** 2回目の作業結果・内容確認と説明
- 14:35** 対話：2つの候補地のどちらかに建設した場合のそれぞれのデメリットについての解決策
- 15:20** 発表
- 16:10** 基本構想・整備方針（市から説明）
- 16:15** 対話：個人的な感想も含めた意見交換
- 16:55** ふりかえり・次回に向けて
- 17:00** おわりに・あいさつ

対話の心得

- 「私たち」と思う
- 話に耳を澄ませて聴く
- 否定も断定もしない
- 答えは一つと思わない
- 一人1回2分以内
- アイディアをつなげる
- 心の変容を許す





*テーブルファシリテーターは山口さんの研修を受けた市職員が担当しています。

今回は、前回までに各班で挙げられた候補地ごとのメリット・デメリットをまとめた資料を見ながら、まずは事務局がもとの意見をどのように集約したのか説明し、第2回までに参加者の皆さんから確認をいただいた点などについては、資料を見ながら補足説明を行いました。

その後、挙げられたデメリットを解決するにはどうしたらよいか、グループごとにアイデアを出し合いました。

また、市として新しい図書館をどのような図書館にしたいのか、「新花巻図書館整備基本構想」に定めた整備方針について、市から改めて説明しました。

最後に、これまでの対話を通して、自分は思ったか、他のグループの人とも意見交換をしつつ、それぞれの思いを共有しました。

参加者の声

- 様々な比較や検討、みんなで話し合いを重ねる中で、物事を見る視点が変わった気がする。
- どちらも決定的なデメリットはないし、どちらもメリットはあると思う。
- 自分がいいと思う場所は変わらないものの、もう一方の良さもわかった。どちらでも納得できる図書館になると思うので、早く建ってほしい。
- 双方のメリット・デメリットについて話し合いを重ねてきたからこそ、どちらかに決めるのは難しい。次回までに考えをまとめたい。

新花巻図書館の整備状況について情報を発信しているポータルサイト「新花巻図書館のこれまでとこれから」もぜひご覧ください！

ポータルサイトへ▶



基本構想

平成29年8月、市は、市民の皆さんから意見を聞いたうえで、新しい図書館の機能やサービスの基本となる方針として、新花巻図書館整備基本構想を定めました。

新しい図書館の整備にあたっては、市民一人ひとりの生活や活動を基本的に考えながら、先人が育んできた「学びの精神」を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子供の読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また情報を地域や産業の創造に結び付ける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の3つを基本方針とします。

1. 郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館
2. すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館
3. 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

第4回 市民会議

*第3回にて、出席者に確認のうえ、予備日としていた第4回を開催することとしました。

令和7年2月15日(土) 13時～17時
生涯学園都市会館（まなび学園）

第2回・第3回で挙げられた候補地ごとのデメリットの解決策について確認した後に、これまでの説明や対話を通して、自身が新図書館の建設候補地についてどう思ったか話し合う予定です。

市民会議 ニュースレター 第4号



ついに最終回！お互いの考えを語り合いました



最終回となる今回は、グループ内だけでなく、グループの枠を越え、これまでの対話を通して、建設候補地について自分がどう思うか話し合ったり、ヒアリングシートの記入を通して自分の考えをまとめたりしました。

令和7年2月15日（土）
13時～17時

生涯学園都市会館（まなび学園）

出席者：53名（申込者75名）

会議の内容

これまでと同様に、慶應義塾大学大学院特任教授の山口寛さんをメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、グループに分かれて次のように話し合いました。

- 13:00** はじめに・あいさつ
会議の目的・ルール説明等
- 13:10** アイスブレイク（最近あったこと）
- 13:20** 3回目の作業結果・内容確認と説明
- 13:50** 対話：個人的な考えを語り合う
- 15:00** ヒアリングシートの記入
- 16:40** ヒアリングシート内容の結果発表(中間)
- 16:50** お礼と今後について
- 16:55** ふりかえり

対話の心得

- 「私たち」と思う
- 話に耳を澄ませて聴く
- 否定も断定もしない
- 答えは一つと思わない
- 一人1回3分以内
- アイディアをつなげる
- 心の変容を許す

！
これまでに参加者のみなさんからいただいたご意見などの集計・分析結果は、まとまり次第、広報はなまきや市ホームページなどでお知らせします。

市ホームページへ▶



ヒアリングシートの書き方



まず、前回までに各グループで挙げられた候補地ごとのメリット・デメリット・デメリットの解決策をまとめた資料を見つつ、グループのメンバーを入れ替えながら、これまでの対話を経ての候補地に関する自分の考えを話し、他の参加者の意見も聞きました。

また、これまでにみなさんから出された意見を分類した10の項目「活性化」「文化・歴史」「他施設との連携」「周辺環境」「アクセス」「安全」「防災」「土地」「駐車場」「費用」それぞれについて、どちらの候補地が良いと思うか、また、重要な項目はどれかなど、自分の考えをヒアリングシートに記入しました。

*各グループのファシリテーターは山口さんの研修を受けた市職員が担当しました。

これまでの話し合いでは、それぞれの候補地のメリット、デメリットおよびデメリットの解決策を、AIを利用しながら整理し、2つの視点（「都市計画的視点」「建築計画的視点」）と10の分類（「活性化」「文化・歴史」「他施設との連携」「周辺環境」「アクセス」「安全」「防災」「土地」「駐車場」「費用」）に分けて考えてきました。

ヒアリングシートでもこれらの視点・分類を用い、それぞれの候補地について個人の考えを記入していただきました。

【確認1】

「視点・分類」ごとに考えた場合、どちらの場所の方が良いと思いますか。

- ▶自分の考えに近いものを選択。（「明らかに病院側が良いと思う」「どちらかといえば病院側が良いと思う」「どちらでもよい」「どちらかといえば駅前が良いと思う」「明らかに駅前が良いと思う」）
- ▶その理由も記載

【確認2】

「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。理由もお書きください。

- ▶分類10項目の中で特に重要と思うもの5項目を選び、優先順位と選択理由を記載

【確認3】

どちらの建設候補地になったとしても大切にしなければならないことはなんですか。

- ▶自由記述

【確認4】

今回の市民会議の位置付け・やり方についてどう思われましたか。

- ▶自由記述

【確認5】

その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください。

- ▶自由記述

集計結果

第4回会議参加者51人のほか、第4回会議に参加できなかった方のうち2回以上会議にご参加いただいた方16人に郵送で回答を依頼し、うち14人にご回答いただきました。

【確認1】「視点・分類」ごとに考えた場合、どちらの場所の方が良いと思いますか。

視点・分類		1.明らかに病院側が良いと思う	2.どちらかといえば病院側が良いと思う	3.どちらでもよい	4.どちらかといえば駅前が良いと思う	5.明らかに駅前が良いと思う
都市計画的視点	①活性化	4人	6人	12人	16人	27人
	②文化・歴史	11人	16人	30人	5人	3人
	③他施設との連携	7人	14人	26人	13人	5人
	④周辺環境	8人	11人	15人	21人	10人
	⑤アクセス	3人	1人	9人	10人	42人
建築計画的視点	⑥安全	3人	3人	15人	25人	19人
	⑦防災	2人	5人	28人	19人	11人
	⑧土地	15人	16人	10人	11人	13人
	⑨駐車場	19人	24人	14人	4人	4人
	⑩費用	14人	7人	27人	12人	4人

人数が最も多いもの

*⑩費用について無回答の人が1人

【確認2】「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。

視点・分類		1位	2位	3位	4位	5位
都市計画的視点	①活性化	18人	6人	10人	9人	8人
	②文化・歴史	2人	5人	3人	4人	3人
	③他施設との連携	0人	0人	3人	10人	6人
	④周辺環境	6人	5人	9人	8人	12人
	⑤アクセス	19人	27人	4人	3人	3人
建築計画的視点	⑥安全	7人	11人	10人	9人	5人
	⑦防災	0人	0人	4人	4人	5人
	⑧土地	2人	3人	5人	5人	4人
	⑨駐車場	3人	4人	12人	6人	9人
	⑩費用	7人	2人	3人	4人	7人

人数が最も多いもの

* 1位のみを回答した人が1人、1位～3位を回答した人が1人、無回答の人が1人

それぞれの選んだ理由や自由記述の内容については、まとまり次第市ホームページ等に掲載します。

参加者の声

ヒアリングシートの【確認4】および【確認5】への回答から抜粋しています。

【確認4】今回の市民会議の位置付け・やり方についてどう思われましたか。

- 市民のいろいろな意見を聞き、皆で考える事は良い事だと思った。
- 発言力のある人ばかりが話すことなく広く意見を聞くことができて良かった。
- 断言しない・否定しないで話を聞くことや、他世代の話があったことで理解が深まった。
- 非常におもしろかったと思いますが、回数を重ねる度にメリット、デメリットが多すぎて結局どちらにしていかわからなくなりました。やはりこれだけの人数の考えを聞いて何かを判断するのはむずかしい。
- 一般市民の私たちの意見(あるいは多数決)によって決定するのは荷が重すぎるので、できるだけ多くの意見を集約し、市が決定する判断材料にするという位置付けは好感が持てました。
- 今後、どの候補地になったとしても、今回の市民の声が活かされることを望みます。

【確認5】その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください。

- 毎回楽しく参加させてもらった。年代によって発想や考え方が違っていておもしろかった。それぞれが自分の考えを言えて良かった。
- 先入観やイメージだけではわからなかったメリットやデメリット、デメリットの解決策について深く掘り下げることができた。
- 最初持っていた意見とは違う意見を聞くことができ、自分が成長することができたと思う。どちらの候補地になっても納得できるので、図書館の完成を楽しみにしている。
- 1人1人意見がちがうこと、知れば知るほど分からなくなっていくって、意見が変わっていくことがあることを知りました。市民会議に参加ができて良かったです。どちらの候補地になっても、いい図書館になると思いました。



市民会議を終えて

新花巻図書館の建設候補地に関する市民会議は、予備日としていた2月15日を含め、1回4時間の会議を4回も開催いたしました。

ご参加いただいた市民のみなさんには、新花巻図書館の建設候補地について真摯に話し合いをしていただき、大変感謝しております。

市といたしましては、市民の皆さんの対話による市民会議で集約された意見を建設候補地を定めるための判断材料として尊重してまいりたいと考えております。



花巻市長 上田 東一

新花巻図書館の整備状況に関する情報を発信しているポータルサイト「新花巻図書館のこれまでとこれから」もぜひご覧ください！

ポータルサイトへ▶

